

# 第1回 科学技術教育フォーラム

## 科学技術立国を支える問題解決教育

-- 世界トップレベルをめざす産官学共創の人材育成 --

21世紀の科学技術立国を担う将来の理数系人材育成は、産官学で取り組むべき喫緊の課題です。1960年代から1980年代にかけて日本の技術競争力大躍進の背後にあった、統計的問題解決法は、今日、課題解決とイノベーション創造のための21世紀型ソフトスキルとして、海外において広く普及定着し、企業教育のみならず学校教育の場で早期より体系的に教育され成果を上げています。

わが国でも、理数教育の充実が謳われた「新学習指導要領」において、数学・理科を中心として、「確かなデータに基づき、自ら問題を発見し、解決する問題解決力」を効果的に育成することや、わが国の産業界が戦後一貫して実践してきた「統計的ものの見方」、とりわけ、統計的発想の基になる“数字”を見る目を育成することが求められています。

そこで、小・中・高等学校、大学における教育関係者と品質立国日本を代表する産業界の関係者で、モノづくりの基盤である問題解決の捉え方、考え方とその力の育成方法を共有することを目的として、日本品質管理学会主催で第1回科学技術教育フォーラムを下記の要領で開催いたします。ご参加のほどお願い申し上げます。

記

### 1. テーマ「科学技術立国を支える問題解決教育」

2. 日時 平成22年12月27日(月) 10時～17時

3. 会場 成城大学 3号館003教室 (定員400名)

4. 参加費 無料

5. プログラム (敬称略)

座長：東洋大学教授 渡辺美智子

(0) 開催の趣旨：世界が進める統計的問題解決教育の原点と新学習指導要領への期待

……日本品質管理学会会長 鈴木和幸 (電気通信大学)

(1) 新学習指導要領で目指すもの

……文部科学省教科調査官 長尾篤志

(2) 科学教育における科学的探究能力としての統計的推理

……国立教育政策研究所総括研究官 小倉康

(3) 国際調査にみる問題解決教育の重要性とわが国の課題

……国立教育政策研究所総括研究官 西村圭一

(4) 理数事例の紹介 (紙へリコプター実験など) -アプローチと評価方法-

……応用統計学会会長 椿広計 (統計数理研究所副所長)

(5) 創造力・企画力強化への提言 -統計的問題解決と創造性教育の融合-

……成城大学教授 神田範明

(6) 統計的問題解決を進めてきた品質管理の現場 ……日野自動車(株) 瀧沢幸男

(7) 統計的問題解決法のポイントと問題解決事例 ……電気通信大学 鈴木和幸

(8) パネル・ディスカッション ……全講演者・主催学会関係者

### 6. 主催・協賛ならびに後援

主催：(社)日本品質管理学会、日本統計学会、応用統計学会、統計数理研究所

協賛：(財)日本科学技術連盟、(財)日本規格協会、理数教育研究所、

横断型基幹科学技術研究団体連合、統計関連学会連合、(独)科学技術振興機構

後援：全国統計教育研究協議会、東京都教育委員会、日本科学教育学会、日本学術会議

日本数学教育学会

以下申請中：文部科学省、経済産業省、総務省

7. 申込み URL <http://www.jsqc.org/q/news/events-list.html>

8. 問合せ先：(社)日本品質管理学会 事務局

E-mail [apply@jsqc.org](mailto:apply@jsqc.org) TEL 03-5378-1506